

●北神戸をゆく

# 神出の雄岡山・雌岡山

裸石神社の境内で行なわれる「湯立の神事」は厄災除けの意味をもつ。





●ルポルタージュ

北神戸をゆく

〈7〉

# 神出の雄岡山・雌岡山

黒部

亨〈作家〉



釜の中の湯を四方へまき散らし、けがれを払う「湯立ての神事」

明石から国道一七五号線を三木市へむかつて北上すると、明石平野の北端、神戸市垂水区神出町の東寄りに、同じような形の高山が二つそびえている。稜線のうねりもおだやかに、春霞の空にひときわ高い山容は、見る人の目に和やかな安らぎすらあたえてくれる。東にあるのが雄岡山、西が雌岡山で、両山の中心部間隔は約二キロ。

わたしたちの先祖は、自然物を神とみて信仰の対象とした。山、樹木、石などの神々は、いまでもわたしたちの周囲に無数に祀られている。雄岡、雌岡の両山が、その秀麗さにおいて山の神さまとされたのは自然のなりゆきである。ことに同型同種のものが二つある場合、古代人はすぐに陰陽男女二つのものと考えた。雄岡、雌岡にも男神女神が住み給う所とされ、一般には高い方を「オガミ」「オノカミ」低い方を「メガミ」「メノカミ」とよんで崇敬した。

もつとも実際の高さは雄岡が二四メートル、雌岡が二四九メートルだから、メッコさんのほうが数メートル高い。女性上位の山ということになるのか。

両山の名称について、奈良時代に書かれた「摂津住吉大社神代記」によると、古称は上神手山、下神手山で、それが雄午、雌午となり、雄岡、雌岡へと移行したものである。

雄岡山には山腹に小祠があるだけだが、雌岡山の頂上には郷社神出神社があり、中腹には裸石神社がある。両山とも由緒深い山としていまも近郷の人々に親しまれているが、「播磨鑑」の雄岡山最明寺縁起によると、つぎのようないつたえがある。

孝徳天皇の大化年間（約一、三二〇年前）法道仙人という人が摂津の難波浦へ行くと、小舟で釣りをしていた老翁が「わしはおまえのくるのを待っていた。どうだ、舟に乗りんか」とさそうので仙人が乗ると、舟は飛ぶように播州明石の船上に着いた。翁は仙人にむかつて、「この北方に五つの峯がある。東西の両山は高くとがって牛の角のようで、天然の霊鷲山にそっくりだ。仏法無二の霊場だから、おまえは行って精舎を建てて仏法をひるめるがよい。わしはこの地の主で神通力をもっている。

る。おまえの建てた寺を守り、障りや病を除き、夫婦和合をすすめるであろう」と言った。仙人はそのむねを朝廷に申しあげて仏閣を建てた。これが現在の雄岡山最明寺である。

いま一つ、「兵庫県神社誌」によると、神出神社の由緒としてつぎのように書かれている。

「当社は往古、素盞鳴命、奇稲田姫命降臨まし、御子大己貴命御誕生の霊地、故に誕生石、清瀬井これあり。ここに二つの山、号して雄岡山、雌岡山、名づけて神出という。この由来は素盞鳴命、奇稲田姫命いまして、御子化生のいいなり。……人皇五十一代平城天皇、諸国御巡幸の時、神代の旧事を考えましまして二神を勧請さる。御子大己貴命も鎮座し奉る」

要約すると、記紀の神話で有名なスサノヲノミコトが、出雲の飯の川上流でヤマタノオロチを退治してクミナダヒメを助け、二人連れだつてこの雌岡山にきて住みついた。いらい土着民たちに農耕、薬草採集、増殖や農産に関する呪術などを教えたが、そのときこの地で神の子オオナモチノミコト（因幡の白ウサギで有名な大國主命）が生まれたので「神出」の名がついた、というのである。

神出神社の祭神はだからこの三柱の神で、大同四年（八〇九）に平城天皇の勧請によるといわれている。

◇  
まず東方にそびえる雄岡山のほうを見てみよう。

この山は樹木が少なく山相がやさしいので、俗に「神出富士」といわれ、山腹の小祠に木花咲耶姫がまつられている。この女神はニギノミコトの妻で、富士の女神も同一神。神話伝説の海幸彦、山



裸石神社でのおこなな神事





われ先にと災厄よけのササの葉をもち帰る村人たち

幸彦兄弟の母君としても有名である。雄岡神社はいまでも雨乞いの神さまとして農民の崇敬を集めているが、そのいわれについて神出神社宮司の溝端一重さん(58)はこう言う。

「ご神体は石像ですが、これに蛸のクロベをぬりたくってお祈りするんですよ。もちろんご神体はまっ黒によれます。するとたちどころに雨が降るんです。その理由は、コノハナサクヤヒメというかたはたいへん美人でして、体にぬられたクロベを洗い流すために大急ぎで雨を呼ばれるわけですな。わたしの経験でも、ほんとうに雨が降りだしましてね、霊驗あらたかなのにびっくりしましたよ」

オッコさんのご神体が女神というのは矛盾しているようだが、とにかく神出の農民にとってはこの上なくありがたい神さまだった。

「それというのですね」

と、地元の郷土史研究家中谷新吉さん(89)が語るところによると――

「神出荘は昔から極端に水利のわるい所でしてね。荘園時代まで、集落といえは、雌岡山の周辺部にわずばかりで、あとは荒地でした。元禄年間、明石藩九代の領主松平直明公が神出、岩岡一帯を一万石の増産対象地とする官営開発をされました。新田には他村の二、三男や帰農した浪人などが住みついたようです。ですから、オッコさん、メッコさんは当時の入植者たちにとっても信仰の中心だったわけです」そういえば、このあたりに人工的な灌漑池が無数に見られる。

雌岡山のほうをみると、こちらは全山マツとササにおわれ、山頂に神出神社、中腹に裸石神社がある。前者は大神、後者は小神とよばれ、祭礼日は旧三月十八日だったが、いまは四月十八日になっている。

裸石神社のご神体は、この社の特徴をずばり物語っている。すなわち、長さ二メートルもある日子石神(彦石ともいい、男根をかたどった石)と、高さ一メートル、幅七十五センチの日女石神(姫石ともいい、女陰をかたどった石)がそれである。

性器崇拜は原始宗教のなごりで、全国に男女性器をまつた神社はいくつかある。一宮のタガタ神社、宇治のアガタ神社、江ノ島の弁財天、神戸ではもと監那にあった弁財天などがそうだが、大きさと古さという点で、裸石神社のものは横綱級といつてよからう。

いうまでもなく同社は陰陽の巨石を奉祀する縁結びの神で、夫婦和合、安産の神さまでもある。祭礼に来ている人たちの中にも遠く大阪、淡路からの信心家が多い。

小さな神殿のそばで、赤子を抱いた若奥さんがお祈りしている。うしろからそつと内部をのぞいてみると、薄暗い神殿の中に巨大な男根と女陰が鎮座ましましている。文字どおりそのものズバリの形態である。まわりにおびただしくアワビの貝ガラがちらばっている。これは



思わず話に熱が入る。左から筆者、中谷新吉さん、神出神社宮司の薄端一重さん

に作ったものと聞いております。もとは玉垣に囲まれて地べたにおいてあったんですがね、警察筋から風紀上よろしくないという注意もありましたし、だいいち、囲いをしておかないとイタズラをする人がいますのですね」と、薄端さん。鳥居が男根に生まれ変わったとは豪快な話である。

◇ 裸石神社の神前で弥栄祭がはじまった。

青竹を四隅に立てた五メートル四方の中に大釜が二基すえられ、熱湯がわいている。頭にササの葉をつけた巫子<sup>ミコ</sup>が剣の舞いの神事を奉納。笛と太鼓に合わせた舞いは素朴そのものである。舞い終わると、両手にササの葉の束を一つずつもって釜の中の湯を四方へまきちらす。けがれや災厄を払う「湯立ての神事」である。熱湯におそれをなして逃げる者もあれば、罪業消滅をねがって頭をさしたす人もいる。

熱湯をまきおえると、見物人がどっと巫子のまわりに駆け寄って、われがちにササの葉を奪い取る。ころんで泣きたす子供もいる。ほとんどが婦人である。このササをもち帰って家の玄関にさしておくと災厄よけになるという。

「湯立ての神事」がすむと山上の神出神社でモチまきが始まる。これも恒例行事である。それもおわると、老人たちが三々伍々、樹蔭に腰をおろして弁当をひらいた。なんともどかな風景である。

雌岡山全山は閑静そのものであり、眺望もすばらしい。兵庫県観光百選にえらばれたのも当然で、道ばたにはタンポポ、スミレが咲き、大きなワラビが生え、椿の花がいまを盛りと咲いている。そういえばこの山には椿の樹が多く、こぼれ落ちた花びらが掃き清めた庭をまっ赤に染めている。

ツガの木の前でウグイスがなっている。この山は昔から葉草の宝庫で、いまは絶滅したが隔症<sup>かくしやう</sup>に卓効のある堅香子<sup>けんかうし</sup>百合もあったという。

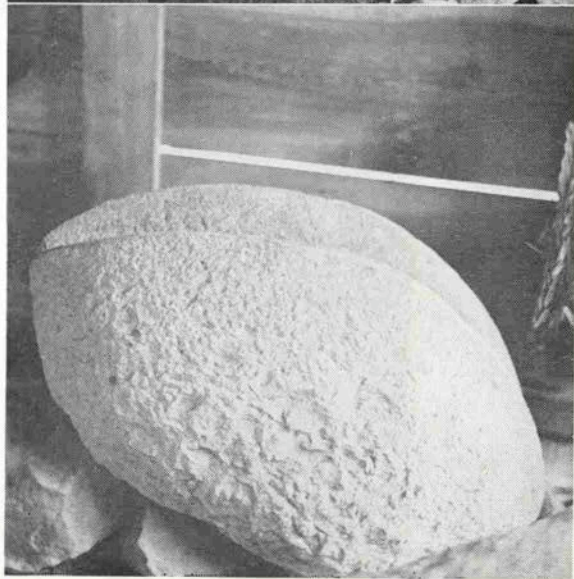
縁談、出産、夜尿症などの願かけをした人たちが、ご利益をうけたお札にお供えたものだという。貝ガラには氏名、年齢、干支<sup>えと</sup>、性別などが書きこまれている。アワビは女陰に似ているところから神さまの好物だったらしく、以前は生き貝をそのままお供えしたという。

いったい、いつごろからこのようなものがこの地にあるのかつまびらかでないが、男神スサノヲノミコトと女神クシナダヒメノミコトを性器に象徴し、「産めよ殖<sup>は</sup>やせよ地に満てよ」の子孫繁栄思想を人々に植<sup>う</sup>えつけたものと思われる。五穀豊穡と子孫繁栄は、古今を問わず民衆の最大のねがいなのだ。

「姫石のほうはすいぶん古くからありますが、彦石のほうは大正のはじめごろ、鳥居の折れ石を使って人工的



裸石神社のご神体、上、日子石神（彦石） 下、日女石神（姫石）



展望台に立って東方を眺めると、春霞のたちこめた中に雄岡山がそびえ、両山の中間に金棒池が光っている。

遠く六甲の山なみも見える。南を見ると海のむこうに淡路、紀州の島影が夢のようにうかんできているし、西に目を転じると加古川、印南野のむこうに、うっすらと小豆島が見える。北は中国山脈で、冬には白銀の嶺が美しいという。

溝端宮司と中谷さんがこもごも語るところによると――

この山の地層は秩父古生層で、昔は金や水晶が出たという。水晶はいまでも出るらしく、道路工事のとき子供たちが大きな水晶塊を発見したことがあるという。

また周辺には古墳が多い。雄岡山中腹には数基のたて穴式盛土古墳があるし、神出中学附近には群集墳があり、平安から鎌倉期にかけてのかまど跡もあって、いまでも陶器がおびただしく出土する。金棒池の中にはひと目でそれとわかる前方後円墳が見える。

出雲族が播磨（はりま）一帯に勢力を伸ばしていたことは、いたるところに牛頭天王（ごうてんわう）がまつられているのを見てもわかるが、このあたりは往時は交通の要地でもあったから、農

耕文化もあんがい進んでいたのではなからうか。

「ところで、こちらには男根女陰の逸物が多数収集されているとかありますが、一目拝観させてもらえないでしょうか」

最後におそろのおそろうかがいをたててみる。

「それがですねえ……」

と溝端さんは申しわけなさそうに、

「あることはあるんですよ。一八〇点ほどありますよ。か。材質も木あり石あり金属ありといろいろありまして、大きいになると男性のシンボルで長さ一メートル近く、太さ三〇センチばかりのものもあります。しかし、目下のところ収蔵庫の中に厳重に保管されています。いづれ近い将来、陳列館をつくる計画ですから、そのときに見ていただこうと思っております」

と、軽いなされた。

せっかくなのたのしみがファイになってしまった。若い取材班三名は、あとまわしにしていたご馳走を取りあげられたような心残りを抱きながら、夕暮れの濃くたちこめた雌岡山を下った。

〈次回は鴨越〉

夏のおしゃれを  
あなたとともに



北村真珠店

元町通2丁目60 TEL. 331-0072

'72舶来、国産サングラス  
続々入荷品揃え！



MAKE UP すばらしいあなたに…  
WITH ROYAL

めがねの御用命はお気軽に神戸眼鏡院で御相談ください

★自動車にてご来店のお方は駐車券進呈！

元町店＝神戸市立花隈駐車場

さんちか店＝神戸市立三宮駐車場

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874～5

元町店は毎水曜日がお休みになりました  
三宮店は第3水曜日が休みです

★ヨコハマ・コウベもとまち 姉妹商店街提携記念座談会★

手をつないだ

# 横浜・神戸元町商店街

神戸元町出席者

美田 真治 さん

〈元町連合会会長〉

川瀬 倅男 さん

〈元町連合会副会長〉

野網 敏一 さん

〈元町五丁目商店会長〉



横浜元町出席者

近沢 竹雄 さん

〈元町エスエス会理事長〉

打木 吉則 さん

〈元町エスエス会副理事長〉

▲ 5月20日、川重保健会館で開かれた姉妹提携式での調印風景

ゲスト 水谷 顕介 さん 〈都市・計画・設計研究所〉

福富 芳美 さん 〈神戸ドレスメーカー女学院長〉

——きょうは、ともに一世紀以上の歴史を誇る、横浜・神戸の「元町」商店街の姉妹提携締結に先立ちまして、両商店街代表の方にゲストを迎え、生いたちから未来を語っていただくというのですが、まず横浜の元町さんから…。

★関東大震災でソシした

横浜元町・トクした神戸元町

近沢 横浜の元町は、東海道の本線から見ますと裏口になるんです。むしろ、鶴見とか生麦とかの方が昔の表口なんです。それを尊王攘夷の志士が切り込んだり危いだろうということで、私どもの元村といていた今の元町、その川向う、つまり山下町、駒形町界限を外人居留地と定めて、川を掘って大岡川、派大岡川をむすんで、堀川とつないで、居留地を港から隔絶したのです。そして誰でも入れないように関所を設けました。それで、関所の中を関内といいます。

そして駒形、山下町へ住んでいた人達を強制的に元村へ移住させたのです。私などは、途中から入って来たのですが、そのように移住させられた人は、居留地へ使役として働きに行っていたというわけです。そこで見るもの、聞くものすべてが新しい、これなら買って来て売ればいいじゃないか、とい





福富芳美さん

近沢 そうですね、そう言  
えば、不二家さんも発祥の  
地は横浜なんですよ。です  
から横浜の元町は、ケーキ  
とか家具とか、そういった  
ものの発祥地なんです。  
美田 そうしますと、居留

うことで、元町というのは、でき  
たときから、舶来品を売る技術を  
身につけていたのです。  
当時の幕府の古い文書など見ま  
すと、江戸からも、有力な商人に  
元町へ出向しろというふうな指図  
書も出ていますね。ですから、開  
港になってから大正十二年の大震  
災までは、非常に殷賑をきわめた  
といえます。狭い五百メートル足



近沢 竹雄さん

ら出て、東京へ行くわけですよ。  
金融その他の関係で、結局大正十  
二年以降の横浜は斜陽化して元町  
も同様に斜陽化した、とこういう  
ことですね。  
そんな点では、神戸はひどい災  
害も受けてないし順調に発展を遂  
げられたと思いますね。  
美田 震災を契機に神戸へ移って  
いらした方もかなりございますね  
ユーハイムさんなど……。



打木 吉則さん

らずの道筋ですけども、  
その狭い所に一万七千ばか  
りが住んでいた。そして、風  
呂屋四軒、西洋野菜屋が七  
軒、元町花街まであったの  
です。それが今は七千ぐら  
いしか住んでいませんよ。  
ですから、当時の殷賑さ  
というのはよくわかると思  
います。それが震災でガタ  
ツといっちゃったわけです  
よ。これは元町だけでなく  
横浜全体が打撃をうけたの  
ですが……。外人の商社な  
んかが、ほとんど元町を離  
れましてね。それも横浜か

地は堀で囲まれていたのですね。  
近沢 そういうことですね。

美田 神手は割に続いているので  
すよ。今の丸大から先、明石町が  
居留地でしたから、川もなにもな  
い陸つづきです。

野網 しかし、租借地ではないが  
居留地として一つの自治権をみと  
めていましたからね。治外法権区  
域でしたね。

近沢 それで、震災後の元町はも  
う、どうしようもない町でした  
よ。大震災でペチャコンコになっ  
てほとんどがバラックでしたよ。私  
が元町へ出てきたのは大正十一年  
でした。が、当時鉄筋だなんての  
は一軒ぐらいいましたよ。

打木 そんなものです。

近沢 みんな木造の平家ないしは  
二階建てですから、当時の元町とい  
うのは、山手に住んでる在留外人  
が日用品を買いまわるようなところ  
だったのです。それと、たまに  
東京のお金持ちが、昔から良いも  
のがあるんだというので、横浜へ  
遊びに来たときにみえるくらいで  
レストランも二軒しかなかったで  
すよ。このレストランが二軒とい  
うことを言いかえれば、いかに来  
町客数が少なかったかということ  
になるわけです。

こういったところが、第二次大  
戦が始まるまでの元町ですね。そ  
れで戦争でみんな焼けてやり直し



野網 敏一氏



川瀬 敬男氏



美田 真治氏



水谷 顕介氏

というわけですが、昭和十一年当時の神戸と比べますと、当時の横浜の方の元町はひどいものでした

ね。

川瀬 神戸の元町というのは、港の出船入船、それの見送り、出迎え、その途中に元町で買物をなさる。それに船員が色々なものをもって来ますから、大阪の人、

京都の人が買いにくる。南京街には珍しい野菜がある。そんなわけ、この一帯に色々かわったものがあつたのですが、最近はどうも同じようになってしまいましたね。

福富 私たちの幼い時の元町はよかったですね。トアロードは、あまりにも大店で、それに元町は非常に高級だけでも……。とにかく元町へ行ける人種では、ちょっとしたものでしたからね。

横浜の元町もいいというのは戦後はもちろん、戦前もよく聞いていたのですが……。終戦後はどのようになったのでしょうか。

★いちばん近親感をもった神戸元町

近沢 終戦後のことを申しますと弁天通というのがありますが、ここも戦前から外人客が多くて、もつとも、こちらは船にいらつし

やるお客様のスーベニアショップ街といった性格の通りで、元町は、こちらに住んでる外人が多いという違いはありますが……。そのの通りが、戦後すぐに接収されました。立ち直りが遅れましたが、私どもは、いち早く復興にかかったという次第です。

当時の日本人は、それこそ食うのが精一杯といった状態でしたが米軍が来る、その家族が来るというわけで昭和三十一年、三年くらいまではちゃんと良かったですね。それが朝鮮事変を契機に米軍が引き揚げたしてからおかしくなりだしまして、どうにもならなくなりました。当時は日本人のお客様が少なかったということもあります。店舗も戦後の焼けトタンに、表だけ厚化粧といった次第で、消費者の動きをつかめていなかったのです。各店ともヒマをもてあますといった状態が続きましたが、これではいけないと、まず街づくりから根本的にやり直さねばというのでその前に神戸へ見学に来たわけですよ。

そしたら、アーケードはあるし銘店が揃っていて非常に立派でこれだけにするのになどくらいかかるとか思ったものです。他にも、銀座とか博多、広島と見てまわったのですが、神戸の元町に一番親近感をもりました。



福富 神戸の元町も私達、客の立場から言って戦後少しばかりさびしくなりましたね。

お店の入れかわりもありましたし、古くからある立派なお店でも格式ばるといふとなんですが、あまり一生懸命にお客に呼びかけるというのをなさらないようですし……。夕方になれば、パッタリ店を閉めてしまふし……。

野網 あぐらをかいてるわけなんです、今もそうなのですが……。福富 その間に、この東の方が、カチャカチャカチャッと、こう……なんとというか人を集めてしまった感じがですね。(笑)

美田 市庁舎が移ったということもありますしね。あれに勢いを得たということもいえますね。それとも一つ、百貨店を目の敵にしていたのが誤りでした。



明治中期の横浜元町

福富 そうですね。あれは私達の目でみてもおかしいと思います。

美田 これではいけないと気づいて、協同売り出しなど始めて十数年になりますが、それまではもうおさえるのにやっきになった。その間にセンター街ができて元町に負けないようにと追われたわけです。

出来た当時のセンター街は、人通りも少なく、店の人が交代でお客のようにして歩いているといった状態だったようです。こうして人を呼んだのですが、これは何が目標かというと元町なんですね。ところが、こちらは、あぐらをかいているし、百貨店をおさえるのに精を出しているという状態でしたからね(笑)

野網 博多の商店街へ見学に行ったところ、デパートと協同で売り出しをやっているんですね。これにはおどろきましてね、聞いてみますと、大資本と提携してお客さんを誘う、そしてそれから先は、それぞれの腕のみせどころだというわけですね。宣伝力は大資本と組むのが得策だというんですよ。これは前代未聞というわけで、我々早速大丸さんと協同したような次第です。その内に京都、大阪でも同様になりましたが……。

川瀬 しかし、百貨店法を作って規制したのも神戸ですね。

近沢 ある意味では、我々も感謝しなければ……。 (笑)

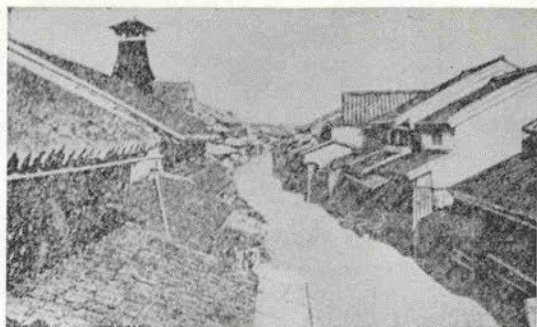
川瀬 これは本当に、何百度という大転回ですよ。(笑)

野網 ところが、そんな風に悪いいい方ですが、人の輝で相撲をとろうという企画だったのですが、これまた、あぐらをかいてる内にひさしを貸して母屋をとられるという風な事態に陥っているんですよ。つまり、百貨店法でデパートは景品売出しが出来ない。ところが協同売り出しならいい。そこで我々商店街が足並みが揃わないでいる内に向うはスイスイとやるというように……。 (笑)

福富 センター街で店を出している人が元町へ店を出してみても、客数は少ないが、売り上げがいいのに驚いたといえますね。確かにこういう風にいい客はついているのですが、今センター街で育っている若い人が、お金を使えるようになった時に元町へ来てくれるかというのは問題だと思ふのですが……。

川瀬 地元の寄り合いでもその話しはでるんです。そして年をとれば来て下さるという人もあるんですけれども……。 そう甘くない。

野網 そうです。今はオールドファッションが来てくれているが、これは信仰とは違いますからね。信仰なら、ある程度の年になれば、そんな気もおきるかも知れないけれど



明治初期の神戸元町

商売ではそんなことが言えませんが、  
からね。ところが、そんなことはない、若い人も年とって金ができるば元町に来ると決めている人がいるから……。 (笑)

近沢 そちらは繁栄の期間が永かったということもあるんでしょうね。

### ★街を演出して成功した

ヨコハマ元町

横浜の元町さんは、ある種の危機感を感じられて、全国の商店街を見てまわり今回の街づくりとなったと思うのですが、そのプランについてお聞かせ下さい。

近沢 横浜の元町通りは七・八メートルの道巾しかないところへ、モータリゼーションの進化ということで、これはどうしても歩道がある。そこで壁面後退作戦と称し

まして一階だけ一・八メートルさげて、高さを三メートルに規制したわけですね。何百回と会合を重ねて実行しました。そして最終的には八億五千万かけて完成したわけですね。これにも紆余曲折がございまして街の改造については誰も反対しないどころか大賛成なんですね。ところが、いざやるとなるとお宅からどうぞというわけで、なかなかまとまらない。それでまあ、言い出しつべの私のところから始めたのです。それが昭和三十七年。それで順次改造となったのですが、幸か不幸か、改造した店から順に売り上げが四〇〇五〇パーセント増加していったのです。それでほとんどできたのが……。

打木 四十二年頃ですね。

近沢 そうですね。一番苦しかったのはオリンピックの前後です。今どき高い建築費で建てるのはバカだつていうわけですがね。でもインフレは建築屋だけじゃない、オリンピックが終れば安くなるかというんですよ。

それに日本経済の復興、これはすべて借金で成立してきたことだから、小売商が金を借りてなにが悪いかというのですよ。もしそれで悪いことがあるとすれば一つ。それは大会社なら系統がはっきりして使い途も明確だけど、個人商店だと、今までひもじい思いして

るから、これだけ借りてきたからこの内でこれだけでどこかへ……というやつですよ。(笑) これさえしなないで、借りた金を店へつきこめばきつと良くなる。貯めてから建てるより借りて来た方が繁栄の期間は長いというんですよ。

これで構造的な街づくりは終りかけたのですが、次に演出ということが大事だと思うのです。店がきれいになったという時点では彫刻師が仏像を彫ったというだけでまだ仏様ではない、これに名僧が魂を入れて初めて仏様となるように商店街もこれに演出をほどこす必要があると思うのです。

そこで、横浜駅西口、伊勢崎町と対抗するには、我々の地は明らかに不利な所なんです。そして、神戸はもう卒業なさいましたが、流通革新の問題ですね。スーパとかデパートの多店化とか色々あります。しかし、それらを分析してみますと結局、マスプロ、マセールということになるんです。これに対抗するに我々が同じ武器をとっても勝敗は明らかです。そこで我々は各店のブランド、元町のブランドを売り込むことにし、焦点を女性にあてたわけです。戦後強くなり、財布をしっかりと握っていらつしやる御婦人に……。

高級品商店街として、ハイセンス、エキゾチックだとかお洒落と





横浜 元町

いった方向をうちだして行くんですけど、各店が自分のオリジナル製品を作り出す工場を持っているわけじゃない。そこで、まだ舶来品イコール高級品というイメージがまだあるし、事実そういう商品も多いので、これをやろう。しかしそれならどこでもやっているの、これを我々が直輸入しようというところで、昭和四十二年にヨーロッパへ買い付けにいったのが第一回です。それでロンドン、ローマ、パリ、チューリッヒ、ハンブルグ、アムステルダムそして、四十四年の第二回目ではマドリッドなどで直接に商店とコンタクトして

輸入を始めました。今年は七月二十日から第三回目を行ないます。それで小売店が小売店から買って利益は？ということ言われるのですが、これらの店は西暦九百年創立とか一千百年創立とかいった古い店で自分の工場を持っていて小売はもちろん、輸出も卸もやっているから、聞けばすぐに輸出価格をだしてくれるわけです。それに第一回のときには、11PMの小島正夫さんとスタッフ、毎日新聞の人を無料招待してPRしていただいたのです。これは効果的でした。帰って来たらほとんどの新聞が取材に来まして十三紙が

書いてくれました。おかげで売り上げは五〇パーセントアップですよ。三十八年には百二十店の年商十億足らずが今は百五十億になっています。だから演出とPRが商店街にとっていかに大事であるかということですよ。

#### ★ホンモノの重みを

——貴重なお話をありがとうございます。そこで、横浜と神戸の元町を街の面からみて、水谷先生にお話しいただきたいのですが……

水谷 横浜の場合は、一般的な交



神戸元町

通条件から言っても確かによくないんです。それに比べると神戸の場合は、交通機関の条件、街の位置なども数段まさっている。しかし結果的にみるとそのいいという条件と、元町の古いノレンが続いているという条件がありながらなんだか個性のない商店街という形態になっている——中身はともかくとして——と言えると思うのです。さきほど福富先生から、今はお店を知っているから行っているがもし知らない人が増えてきたら……というお話がありましたけれども、その通りで、個々のお店はそれぞれに特色もあり結構な

んですが、いざ全体として商店街をみた場合、特色もなにもない。何も知らない人が行ったら、「なんだ」ということになると思うのです。一方、横浜の場合は決している条件ではないし、それほど大きな建物もないというような条件でありながら、その中で壁面後退ということをなさって街の環境づくりを行なっていることは評価しなければならぬと思います。それと、海外専門店との直接取引のことですが、これは神戸の元町の場合よりも、より具体的かつ内容あるお話 شدと受取ったわけなんです、その商品自体が、銀

座あるいは神戸の元町に比して、どの程度魅力的であるかということについては、私いささか疑問をもっているわけなんです。

野網 私は八年前に神戸市から視察団として横浜の元町へ見学に行き、近沢さんともお話しをしたのですが、やはり感じいったことは商店会には良きリーダーが必要であるということです。特にこの横浜元町の街づくりについての近沢さんの名リードぶりには敬服いたしました。それも商品構成の巧みさです。ご存知のように、神戸元町は男もの、一方横浜の場合は婦人ものに強いのですが、横浜の場



合、他業種、たとえばカメラ店から婦人ものに転換して成功なさっている実例があるんですよ。これはなかなか出来ることじゃないですよ。ただ、横浜元町エスエス会というのは、ごく少数の同志から始めて大きくなったということがありますが、我々の場合、つまり元町連合会は三五〇軒の会員があり、その業種もまったく種々様々なんです。だからややうごきにくいといううらみはありますね。

そういった意味で横浜元町の今日は、近沢さんをはじめ幹部の方々の指導よろしきを得たと思えますね。

水谷 ただ、逆に言えばね、神戸の元町には、まだ色々な店が揃っていることが、ある種の個性を与えていると思うのです。これでみんな同じような店になってしまえば、それこそ仕方がないと思えますし売り出しだけが商店街の役目ではないでしょうから……。

美田 それは同感ですね。

水谷 それらに関連して、もう一つ言えることは、これは神戸の一番の欠点だといえると思うのですが、つまり先程バリのお店の長い伝統の話が出ましたが、神戸は時間のかかったものを大事にするというか、歴史のあるものに対する評価がみんななさすぎると思うのです。結局、新しいものなら

なんでもいいというようになってしまっている。確かに古い人々がサボっているというのは良くないけれど、時間がかかったものがキッチリと出来なくて、新しいものに何が出来ていないということがあると思うのです。神戸は常に新しいこと新しいことといって、古いものの持っている意味が全部だ



5月19日、ホテル神戸での座談会風景

めになって行くわけですね。これはね、これからの神戸が一番考えておかなければいけない問題だと思うのですよ。

福富 たしかに古いものにいいものが多いのは事実なんですけれど、どうして今、新しいものの方へ人が行くかということですね。

水谷 それはつまり、古いものが

サボっているからですよ。だから新しい方へ行ってしまう。野網 やはり店舗構成の面で融通がきかないということがあるからではないでしょうか。

水谷 でも、一概にそうとは言えないんじゃないですか。そのせいだけではなくて、やはり元町を老舗としてキッチリやるんだという姿勢がたりないんじゃないですか。例えば、ベーブメントはきちんとしたものをひくとか、そういったことだけやれば、もう問題はないと思うんですがね。だから、やはり横浜の元町がその特色をいかそうとしたように、神戸もその本来の味をうちだそうとすればいいと思うのです。やはりその街の環境づくりに力を入れることが一番必要であると思えますね。

野網 それで実は一つのプランとして、市電の敷石を利用する案があるのですが……。

水谷 それはいいでしょうね。御影石というのは六甲山のイメージもありますし、本物という感じがすからね……。

——神戸の元町が本来の元町らしさを押し出そうというプランが提出されたところで、この座談会を終りたいと思います。東と西の元町が、それぞれの位置でその特色をいかしつつ発展していけることを願います。

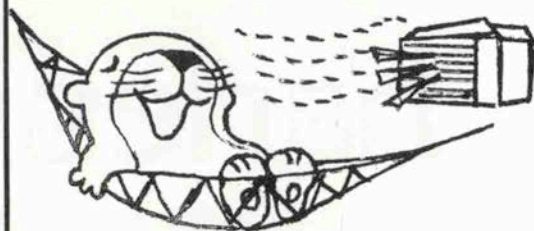


呉服の粋

赤

坂

本店 神戸市生田区元町通六丁目  
 (341)五五一八・八六五三  
 大丸前店 市電大丸電停山側(39)三一六四



三菱重工 ビーバーエアコン



ナシヨナル  
 〈冷凍〉冷蔵庫

元町家電(株)

神戸市生田区元町通6丁目25  
 TEL (078)351-0081

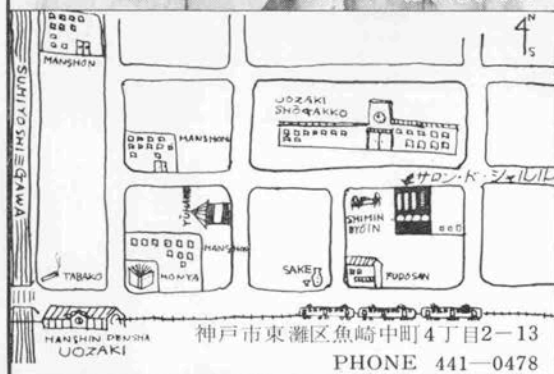


ビューティサロン

# salon de Charles



モデル・森本礼子さん



Goncharoff

涼感を呼ぶクールなタッチの  
クールなキャンディ

FRESH & COOL



cool six  
¥1,500 ¥1,000 ¥700 ¥500

ゴンチャロフ / クールシックス

本社・神戸市生田区加納町4丁目1番地 TEL(391)2636  
さんちか店・神戸三宮地下街(スイーツタウン) TEL(391)3563  
ティパレスゴンチャロフ・神戸商工貿易センタービル内 TEL(251)0237

# ★神戸の集いから

★「えほん・コウベ」発刊に  
広瀬安美さんの出版記念会

昭和四十六年から一年間、神戸新聞に連載されたマンガ家広瀬安美さんの「えほん・コウベ」が、このほどのじぎく文庫から上梓され、六月九日貿易センタービル24Fバグで、出版記念会が開かれ二〇〇人近い関係者が集まった。「えほん・コウベ」は神戸の異人館と港と女の子の表紙絵になった三〇〇ページにわたる力作。足をたよりに一点づつ神戸の街角や店や建物、旧蹟がイラストと文章でつづられ、素朴な味と、広瀬さんの眼が女の子を通して柔かく語り描かれている。広瀬さんが女性ではないかと思う読者も多いらしく、この本の発刊で男性であることが判明した訳。

★「ビバ・サンバ」  
神戸っ子チーム勢揃い

五月二十日は、元町一〇〇年祭のバレードに、そして青年広場の神戸まつり前夜祭に、翌二十一日はバレードを午前部の部、午後最終の部を二回、フィナーレは、青年広場の夜、どしゃぶりの雨になるまで、神戸っ子「ビバ・サンバチーム」は大活躍。サンバのコーチャー古谷哲也さんのスパルタに頑張った甲南大ブラジル研究会のサンバ楽団、踊りと衣裳で華やかさをそえたマカンブツサルメンパー、今岡領子モダンダンスチーム、キャンティ、がらしヤチームそして神戸っ子メンバー、ブラジル領事館メンバーなどは約百名がサンバパワーの底力を発揮した。

Chianti corner  
●キャンティ・コーナー



★神戸まつりにのってしまった  
キャンティチーム

今年もその晴れ姿を神戸まつりの、元町一〇〇年記念バレードに、神戸まつり前夜祭に、二十一日のバレード二回、そして青年広場へと徹底的に参加を行ったキャンティチームは、ヒゲが小粋なラテン衣装で登場、あまたの美女にも劣らぬモチモチぶりでカメラの放写をうけたのであります。ただし十二日夜、キャンティの扉には、神戸まつり協賛のため本日休業とありましたことをつけ加えておきます。ゴクローハンノ (M)



写真左はマスターの紳さん 右俊ちゃん

洋酒の店キャンティ  
**Chianti**

神戸 晴夫  
TEL 391 3060  
神戸・生田区北長狭通二三



広瀬さん(右)を囲んで。左は山本芳樹さんと広瀬二世。



青年広場に勢揃いした神戸っ子チーム





「ゴッドファーザー」に見られる家族主義



## 淀川 長治 今日の映画

〈映画評論家〉

「ゴッドファーザー」は見ておかねばならないという意味でアメリカでは大当りしたのであろう。この映画を見たときの、これが一番強い印象であった。

昭和八年に日本で封切られた「暗黒街の顔役」Scarfiaはギャングを都会の野獣として描いていたのであるが「ゴッドファーザー」は彼らをもっと運命的に見つめているのであった。

彼らの行為が正しいとか正しくないとかといったことではなく、互いに入りこんだ木の枝とその巨木の幹を描いて、この木がどうして育ってきたかには口を閉ざしている。そう描かざるを得なかったのであろう。

一番恐ろしいことは、その木から出た一つの枝は、もはやその幹からは離れ得ないという運命であった。

その意味で「ゴッドファーザー」は、たんなる拳銃出入りのやくざ映画ではない。むしろ全篇に悲哀すらこもる映画であった。

なぜ人間が人間を殺さねばならないかという理解に苦しむ心理が「ゴッドファーザー」のなかには説かれてはいない。説き得ないのだ。そしてここに感じられるものは、理由のない誇りであった。その糸をもっとたぐると家族主義につき当ることになる。

日本人とイタリア人が非常に類似しているところはその家族主義である。「ゴッドファーザー」すなわち「名づけ親」これが一家さらに一族を支配する。

この映画がアメリカで当たったことは、そこにもあつ

たのだと思う。若いアメリカの孤独市民には、もはや「ゴッドファーザー」は縁遠い昔がたりにすぎなくなっている。

この映画にノスタルジアが匂うのはそれだと思う。今日の「フレンチコネクション」のごときニューヨークの感覚はいささかもない、むしろミシリーの土の匂いがするくらいである。

映画の作り方がいろいろと変ってきたのは、映画が今日現在のフィルム文学だからである。今日現在の感覚なくしては映画はその生命を失うわけである。過去の名作にとらわれず一昨年の映画でさえもはやそれは過去をいとおしく見つめての鑑賞なのである。

最近のイタリア映画「さらば美しき人」はジョン・フォードの「あわれ彼女は娼婦」の映画化である。これは文学座でも上演され、フランスではルキノ・ヴィスコンティの演出でアラン・ドロンとロミイ・シュナイダーが主演したこともある舞台劇だ。シェークスピアのあとにつづくこの十六世紀から十七世紀にかけてのイギリスの劇作家ジョン・フォードの作品はまだ一度も映画化されてはいない。それがついに映画に登場した。この一〇〇年以上も昔の舞台劇に、今日のものをあらためて映画作家が見つめたことと、今日ゆえにこの映画化が許され得たからであろう。

兄と妹がそれと知って肉体的に結ばれてゆく狂恋。画面での二人のはげしい接吻。やがて彼女は愛もなく貴族と祝言をあげるが初夜も身を許さない。良人は妻の愛の心をひらかせようと馬の交尾を見せた。しかし妻の愛の花は開かない。それで妻をベニスに伴い、ベニスの旅に愛をとり戻さんとし、その夜、妻がすでに妊娠の身たるを感じ、殴り蹴り髪ひきずって攻めさいなんだ。

やがてこの兄と妹は死を求め、兄は、その妹の良人の誕生の祝宴に、殺害した妹の胸をえぐり血のしたたる心臓を短剣の先きに突き刺して、この兄は、宴席の中央に立った。かくてこの兄も、その妹の良人にむこい殺され

かたののち、首をはねられてしまう。

シェークスピアとワイルドの「サロメ」を、その二つのムードを併せたときこのイタリアの作品にも、なにか今日の感覚がせまり、平和というかりそめのその名の中に生きる今の私たちこの人間が、血と争いから逃れ得ぬ人間の業（こお）に、あらためて胸を押しつけられるのであった。

「さらば美しき人」は古き古典の恐ろしい愛の詩であり「ゴッドファーザー」は今日のニューヨークのイタリア人のある一族の悲しむべき誇りであるが、この二つの作品の中に、まさまじと映画は、今日の、現在の、肌を感じさせるのである。



「さらば美しき人」のオリバー・トピアスとシャーロット・ランプリング